

令和8年
4月12日
日

※写真はイメージです。



一部 雅楽

二部 能楽

一、武徳楽 二、越天楽 福岡県神社庁雅楽部会

雅楽は、奈良時代から宮廷の祝祭や儀礼で用いられ、能の誕生にも深く関わってきました。「越天楽」と「武徳楽」は、天下泰平と世の調和を寿ぐ祝祭の楽として奏でられます。武徳楽-漢の高祖が孔子廟で演奏させたと伝わり、以後皇帝即位の際に演奏されました。今回は春の調子ともいわれる双調で演奏します。越天楽-詳細な来歴は不明ですが、平安中期に大流行し、平安末期の動乱で公家が地方に下ると、民謡や、里歌に大きな影響を与えました。『黒田節』にも越殿楽の旋律がそのまま活かされており、日本音楽の原風景といえます。

舞囃子 『高砂』 観世流能楽師 今村嘉太郎

雅楽が持つ儀式的・神聖な雰囲気は、能を単なる演劇ではなく精神性のある芸術として完成させる上で重要な指針となっています。能の代表作『高砂』には、雅楽の演目である「千秋楽」「万歳楽」「青海波」を讃える言葉が連なります。室町時代に能を大成させた世阿弥は、雅楽が持つ「聖なる響き」を能の中に封じ込め、この世の安寧を祈りました。舞囃子『高砂』をご覧ください。言葉として謡われる能と、実際に奏でられる雅楽。住吉の神前で、二つの伝統芸能が一つに溶け合う瞬間を、ぜひ間近でご体感ください。

舞囃子とは、能の長い演目の中から特に重要な「舞」の分を選び出し、シテ一人が紋付・袴姿で舞う形式です。面や装束は用いず、地謡と囃子方の演奏に合わせて行われ、観客は短時間で能の魅力を楽しむことができます。

◎時間／14時開演(13時開場) ◎場所／住吉能楽殿(市指定文化財) 博多区住吉3-1-51 4,500円／全席自由

楽水園「茶席」 遠州流茶道

1席目 11時 2席目 12時 3席目 13時
※15分前までにご来園ください。

江戸初期には、将軍、藩主が家来の家を訪問した際、茶の湯でもてなしその後能の席で接待することが行われていました。茶の湯の心理「わび」、能の本旨「幽玄」を体感していただける本日の特別茶席です。

一名様／2,500円

遠州流茶道

江戸時代初期の大名茶人で総合芸術家として有名な小堀遠州を流祖とする日本を代表する大名茶道で、流祖以来440年の歴史を持ち格式ある茶道として、今日まで受け継がれています。遠州流茶道の真髄は「綺麗さび」と称され「わび・さび」の精神に、美しさ、明るさ、豊かさを加え誰からも美しいと云われる客観性の美、調和の美を創り上げたことにあります。

雅楽と能の舞台
千年の歴史を
奏でる情景



お問合せ先 / 楽水園 博多区住吉2-10-7
☎092-262-6665

表参道(西門側)

住吉神社の周辺道路を走行
博多の人力車「人力屋」



人力車運行

◎大人1,000円 ◎子供500円【10:00-16:00】

※悪天候で運行中止の場合は楽水園HPにてお知らせします。

表参道(西門側)

「文化施設・住吉地域無料ガイド」

◎12時から17時頃

博多ガイドの会・福岡市文化学芸職
住吉地域魅力再発見／住吉神社 本殿・唐門・能楽殿

南参道(南門側)

「住吉グルメ」◎12時から19時頃

住吉地域の飲食店が outlets します。
ステージでは、地域の方々の演奏が楽しめます。
まるっと住吉／福岡芸術高等学校

※悪天候で露店中止の場合は楽水園HPにてお知らせします。